

地域福祉計画改定に伴う区民アンケート調査結果報告について

社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定に際し、来年度改定作業の参考とするため、区民向けアンケート調査により地域のニーズおよび地域活動の参加意向等の調査を実施した。

1. 調査の概要

(1) 調査対象

区内在住の20～79歳の方 5,000人
※年齢、性別、住所などの比率を考慮して抽出

(2) 調査期間

平成29年11月13日～30日

(3) 調査方法

郵送による配布・回収

(4) 回収結果

有効回収数 1,718人（白紙無効票3件含まず）
有効回収率 34.4%

(5) 調査結果

資料「品川区の地域福祉に関するアンケート調査報告書（案）」

2. 地域福祉計画への反映

本結果により地域活動状況および意向を把握・分析し、計画策定の基礎資料とする。

品川区の地域福祉に関するアンケート調査
報告書（案）

平成30年2月

品川区 福祉部 福祉計画課

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の設計	1
3.	調査の内容	1
4.	回収結果	1
II	調査結果	2
1.	対象者の概要	2
2.	地域共生社会の実現に向けて	5
3.	バリアフリーやユニバーサルデザインについて	11
4.	地域活動やボランティア活動について	13
5.	意見、提案	20

I 調査概要

1. 調査の目的

だれもが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることをめざし、平成 20 年に「品川区すべての人にやさしいまちづくり推進計画」、平成 23 年に「第 2 期品川区地域福祉計画」を策定し、推進してきたが、二つの計画を統合し、新たな地域福祉計画として改定するにあたり、区民の生活や地域福祉への意向を把握し、次期計画に反映させるためにアンケート調査を行うものである。

2. 調査の設計

調査対象者	満 20 歳以上の品川区民
調査数	5,000 人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送調査（郵送配布・郵送回収）
調査時期	平成 29 年 11 月

3. 調査の内容

以下の内容で、設問数は属性、補問を含め 22 問とした。

- ・ 個人属性（性別、年齢、居住地区など）
- ・ 地域共生社会の実現に向けて
- ・ バリアフリーやユニバーサルデザインについて
- ・ 地域活動やボランティア活動について
- ・ 意見、提案

4. 回収結果

調査数	5,000 人
有効回収数	1,718 人
有効回収率	34.4%

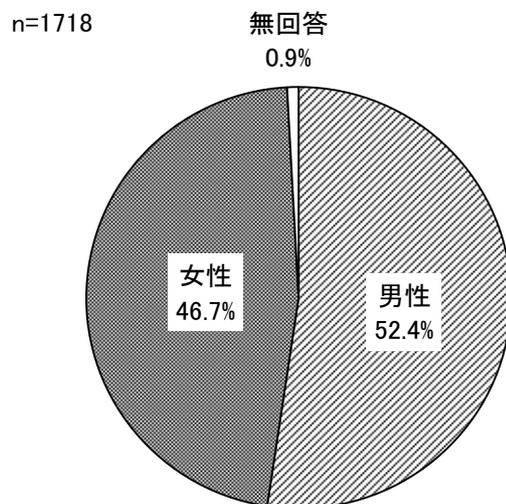
○分析の方法・結果の見方について

- ・ 設問には、1 つだけ回答する単一回答と複数回答する設問があり、複数回答設問の表記の割合合計は 100%を超える。
- ・ 表記の割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入して第 1 位まで表示しているため、単一回答でも割合合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 設問の中には前問に回答した人だけが回答する設問があり、その場合の回答者数（n）は全体よりも少なくなる。

II 調査結果

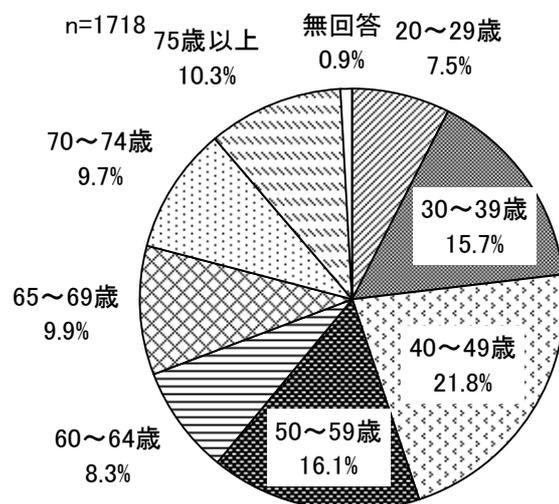
1. 対象者の概要

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)



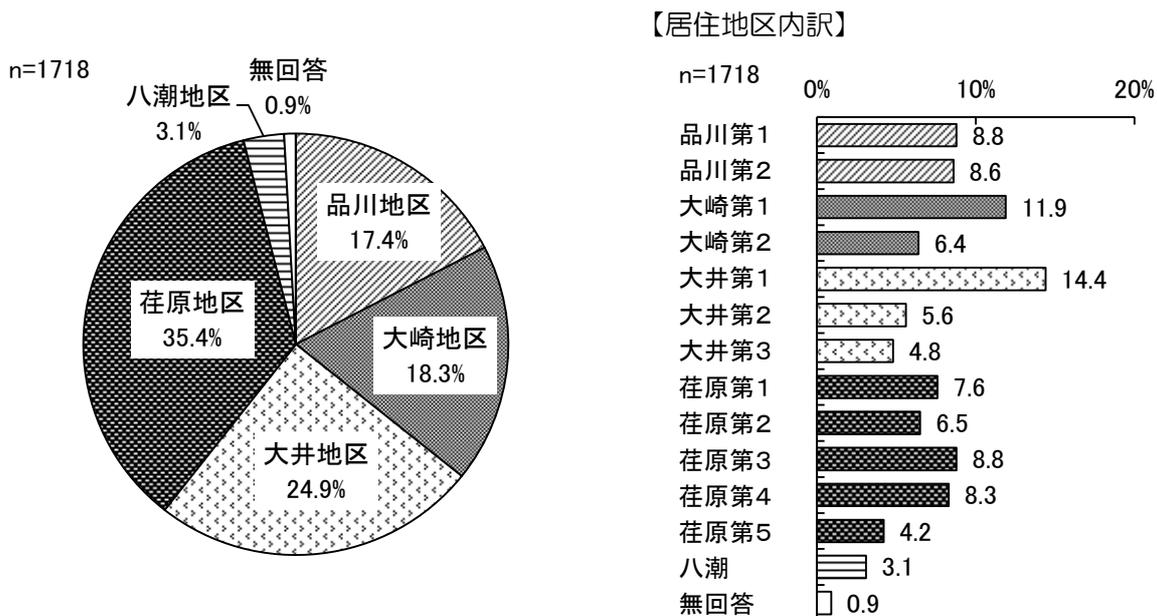
対象者の性別は「男」が52.4%、「女」が46.7%となっている。

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)



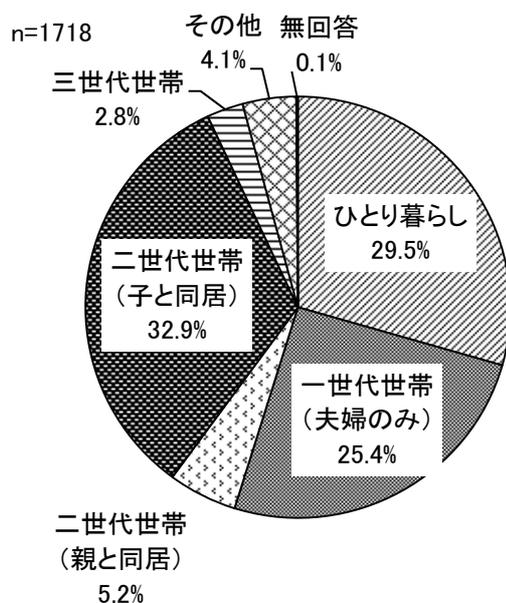
対象者の年齢は「40~49歳」が21.8%と最も高く、次いで「50~59歳」が16.1%、「30~39歳」が15.7%、「75歳以上」が10.3%などとなっている。

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(1つに○)



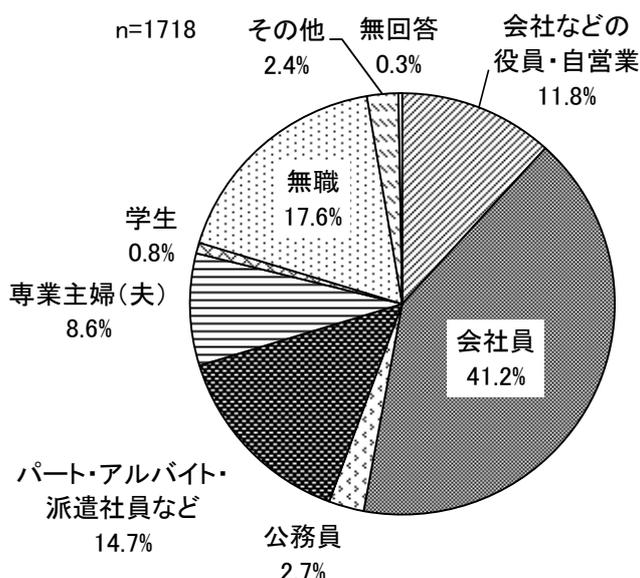
対象者の居住地区は「品川地区」が17.4%、「大崎地区」が18.3%、「大井地区」が24.9%、「荏原地区」が35.4%、「八潮地区」が3.1%となっている。居住地区内訳は「大井第1」が14.4%、「大崎第1」が11.9%などとなっている。

問4 あなたの世帯構成は次のどれですか。同一敷地、同一建物の場合は同居としてお答えください。(1つに○)



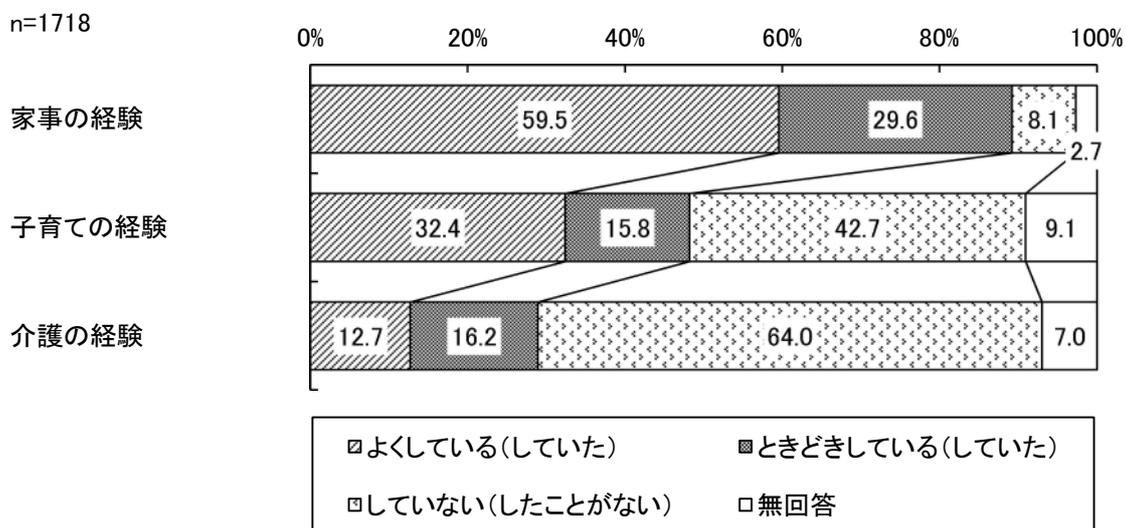
対象者の世帯構成は「二世帯世帯(子と同居)」が32.9%と最も高く、次いで「ひと暮らし」が29.5%、「一世帯世帯(夫婦のみ)」が25.4%などとなっている。

問5 あなたの職業をお答えください。(主なもの1つに○)



対象者の職業は「会社員」が41.2%と最も高く、次いで「無職」が17.6%、「パート・アルバイト・派遣社員など」が14.7%、「会社などの役員・自営業」が11.8%などとなっている。

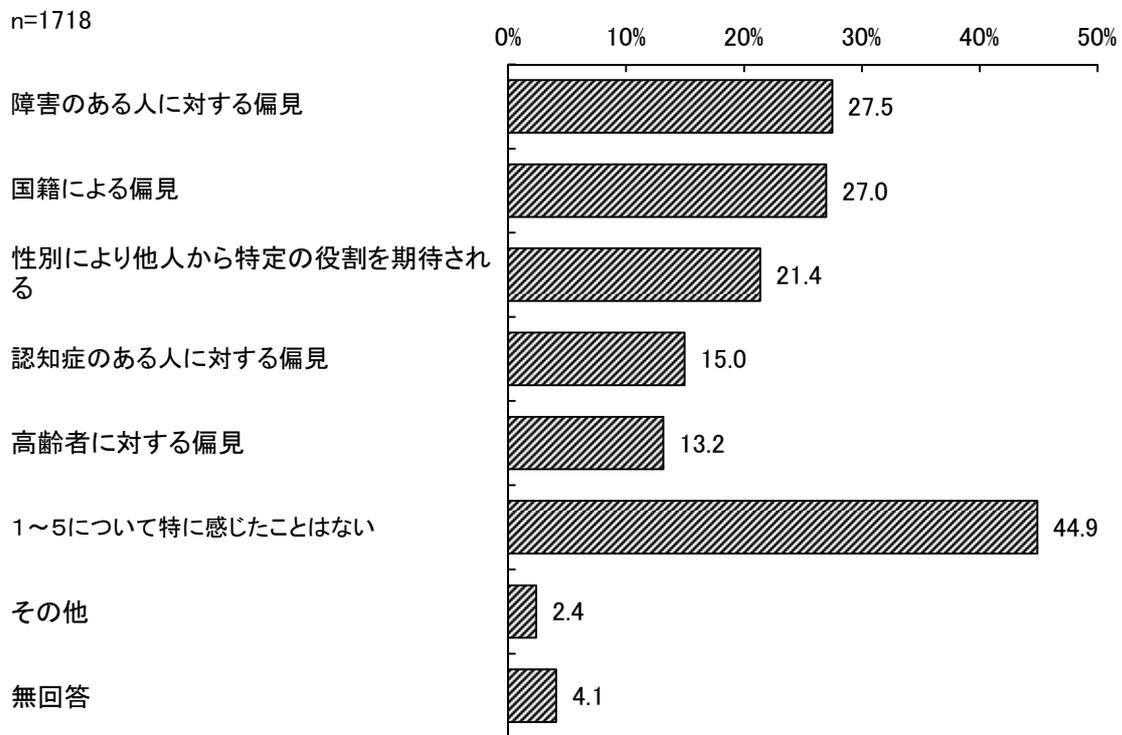
問6 あなたの家事、子育て、介護のご経験に最も近いものを選んでください。(項目ごとに1つに○)



対象者の家事の経験は「よくしている(していた)」が59.5%、「ときどきしている(していた)」が29.6%、合わせた「している(していた)」は89.1%となっている。子育ての経験は「よくしている(していた)」が32.4%、「ときどきしている(していた)」が15.8%、合わせた「している(していた)」は48.2%となっている。介護の経験は「よくしている(していた)」が12.7%、「ときどきしている(していた)」が16.2%、合わせた「している(していた)」は28.9%となっている。

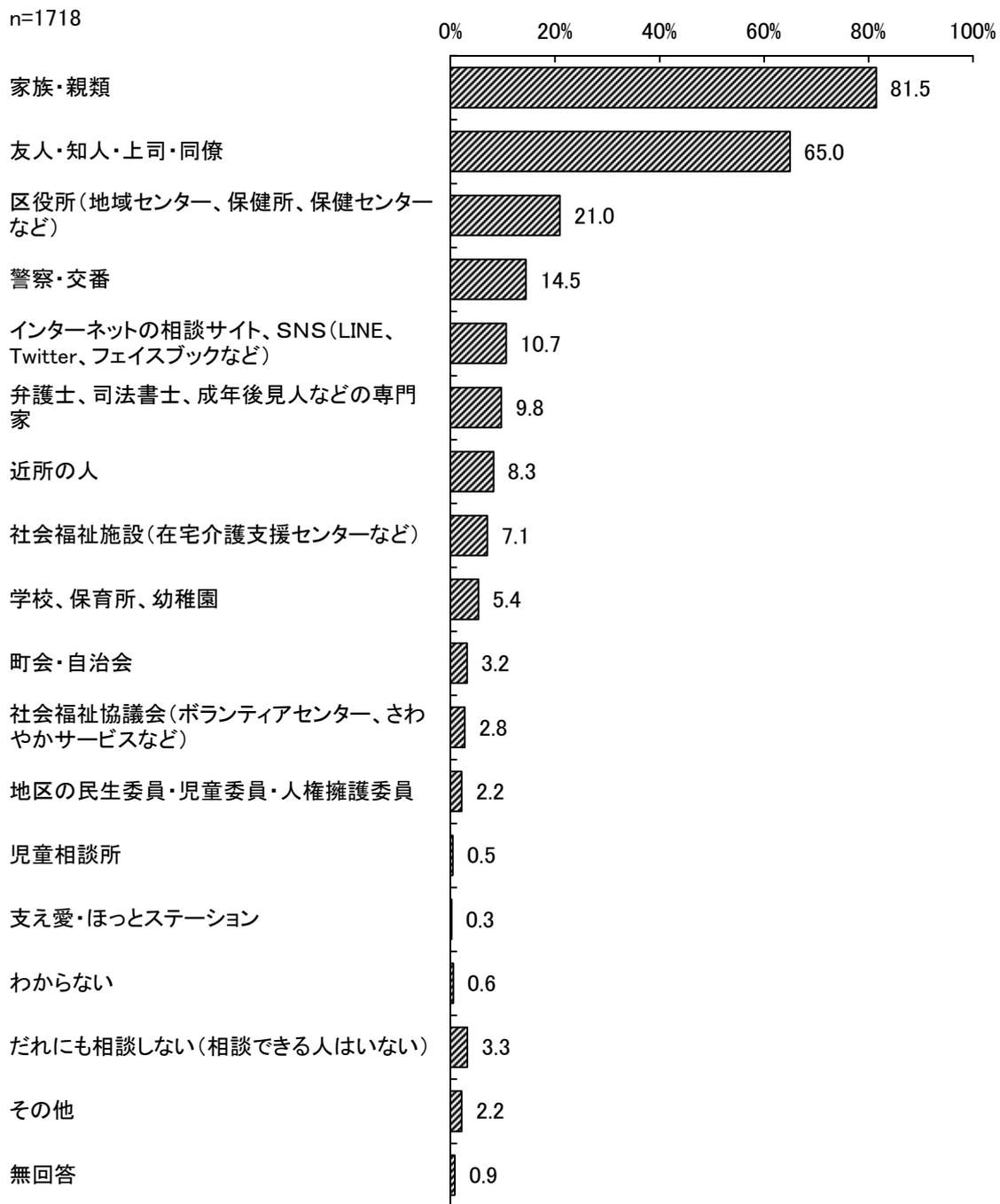
2. 地域共生社会の実現に向けて

問7 あなたは、普段生活をする中で、以下のようなことを感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



普段生活をする中で感じることは「障害のある人に対する偏見」が27.5%と最も高く、次いで「国籍による偏見」が27.0%、「性別により他人から特定の役割を期待される」が21.4%などとなっている。一方、「1～5について特に感じたことはない」は44.9%となっている。

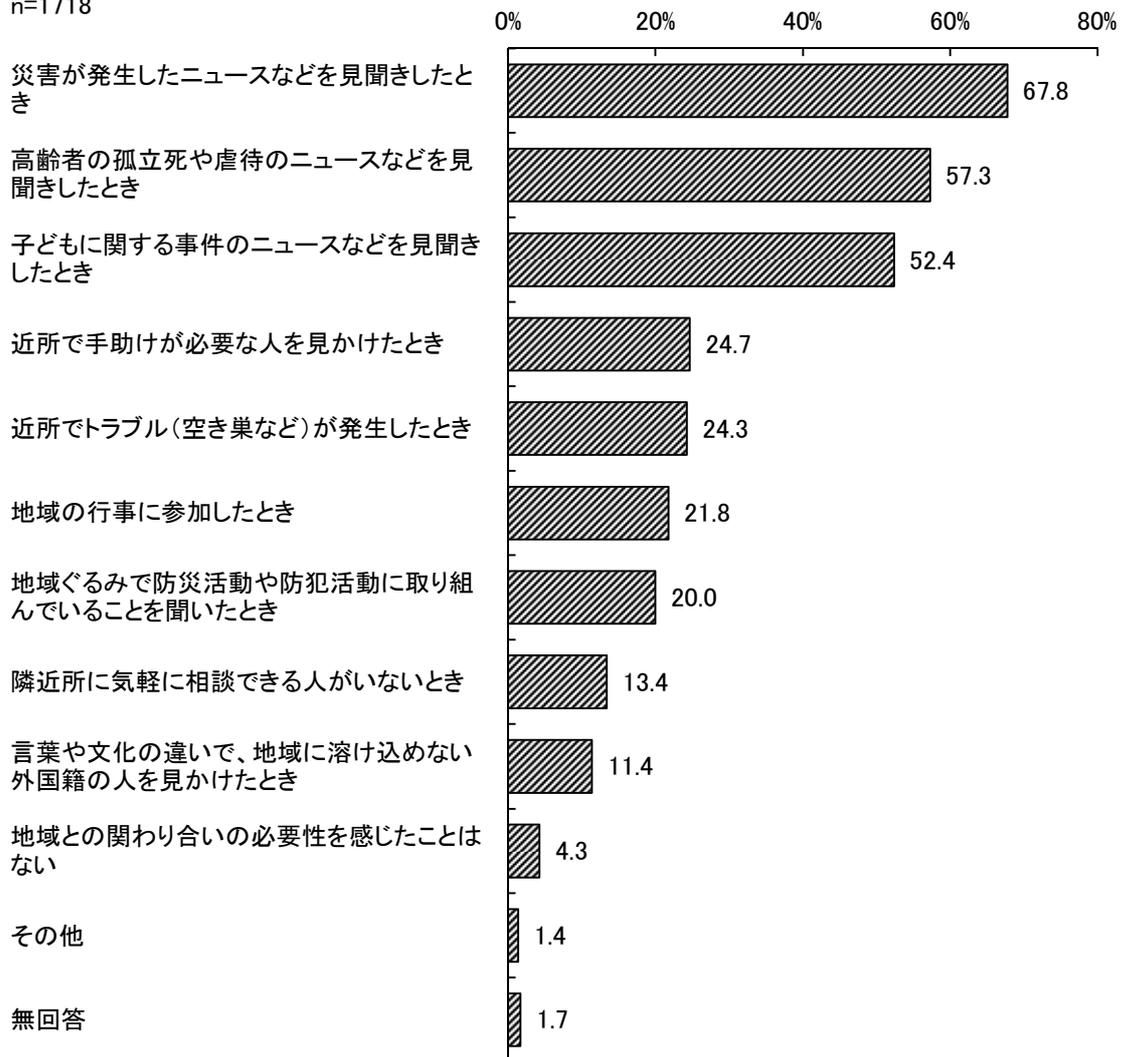
問8 あなたは、日常生活で困ったことがあった場合、どのような人や機関に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)



日常生活で困ったことがあった場合に相談する人や機関は「家族・親類」が81.5%と最も高く、次いで「友人・知人・上司・同僚」が65.0%、「区役所(地域センター、保健所、保健センターなど)」が21.0%などとなっている。また、「だれにも相談しない(相談できる人はいない)」が3.3%となっている。

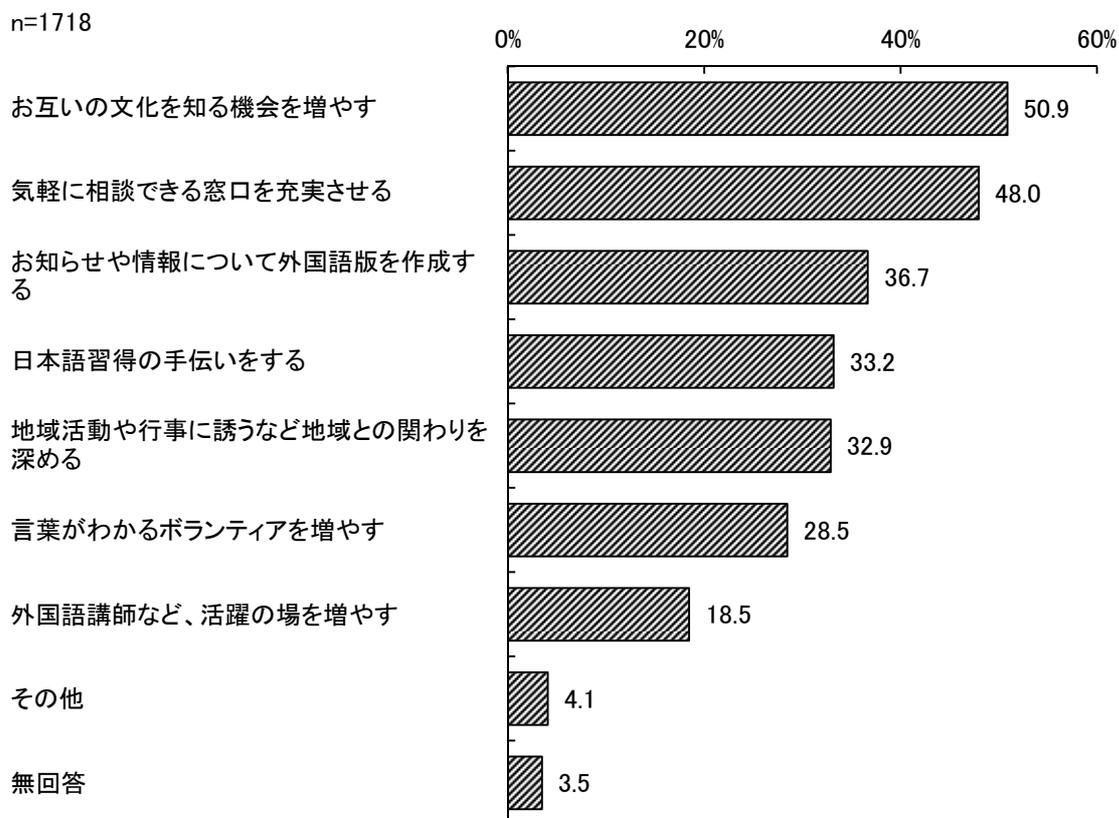
問9 あなたは、どのようなときに地域の関わり合いの必要性を感じますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1718



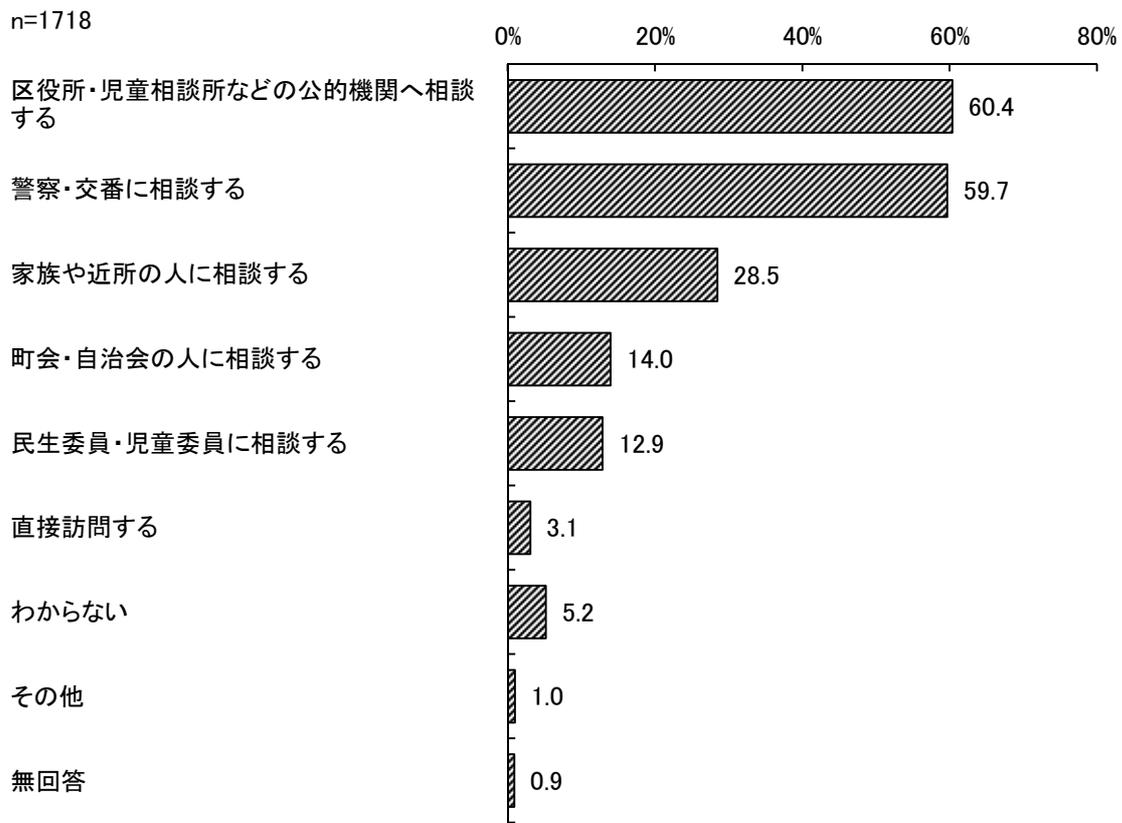
地域の関わり合いの必要性を感じる時は「災害が発生したニュースなどを見聞きしたとき」が67.8%と最も高く、次いで「高齢者の孤立死や虐待のニュースなどを見聞きしたとき」が57.3%、「子どもに関する事件のニュースなどを見聞きしたとき」が52.4%などとなっている。

問 10 日本在住の外国籍の人にとって、暮らしやすい地域にするためには、どのようなことが大事だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



日本在住の外国籍の人にとって、暮らしやすい地域にするために大事だと思うことは「お互いの文化を知る機会を増やす」が50.9%と最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口を充実させる」が48.0%、「お知らせや情報について外国語版を作成する」が36.7%、「日本語習得の手伝いをする」が33.2%などとなっている。

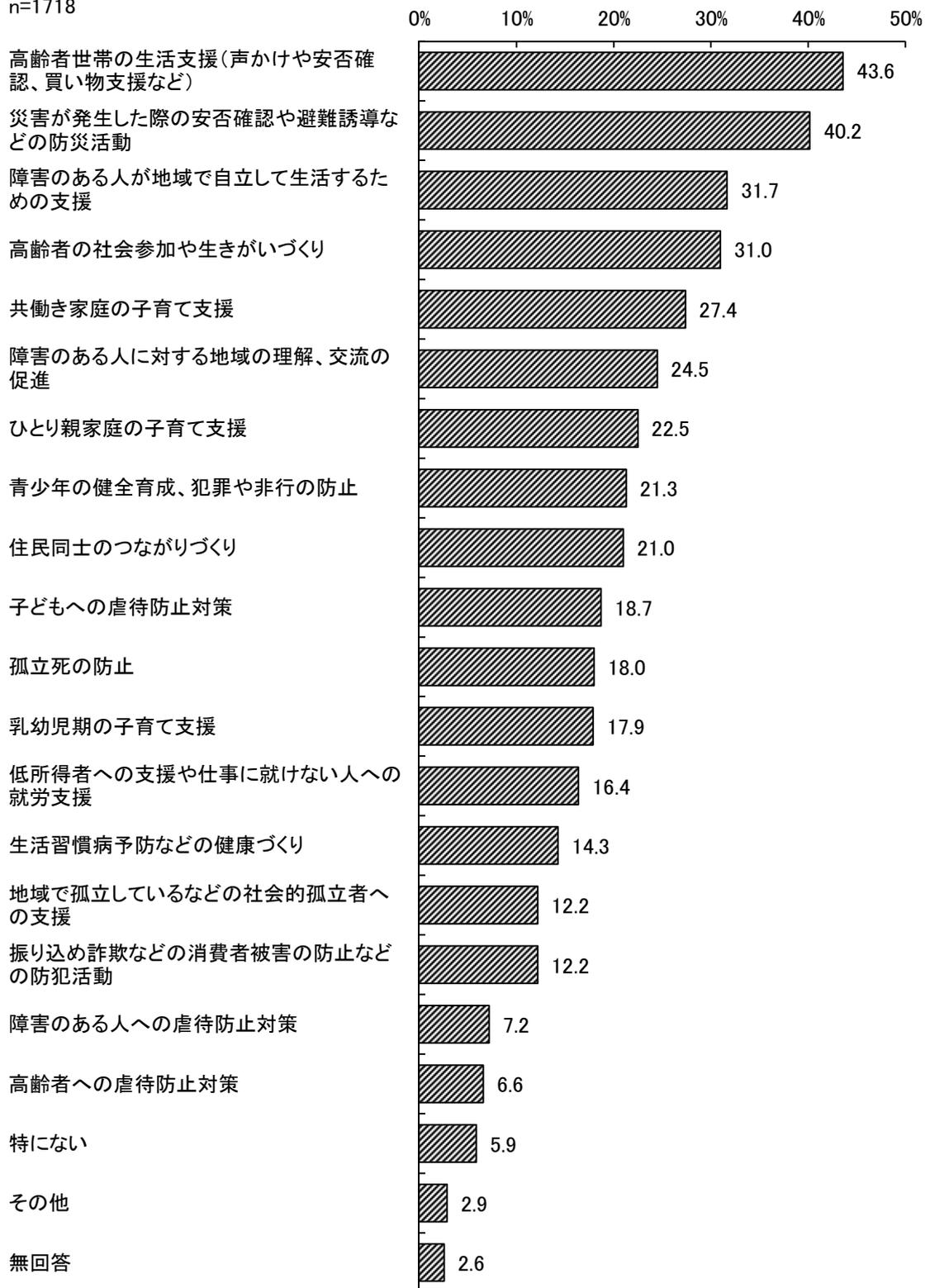
問 11 もしも、あなたの周辺で孤立死や児童、高齢者、障害のある人への虐待などが起こるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。(あてはまるものすべてに○)



周辺で孤立死や虐待などが起こるおそれがある状況を知った場合の最初の対応は「区役所・児童相談所などの公的機関へ相談する」が60.4%と最も高く、次いで「警察・交番に相談する」が59.7%、「家族や近所の人に相談する」が28.5%などとなっている。

問 12 あなたの地域で優先的に取り組まなければならない課題はありますか。(5つまでに○)

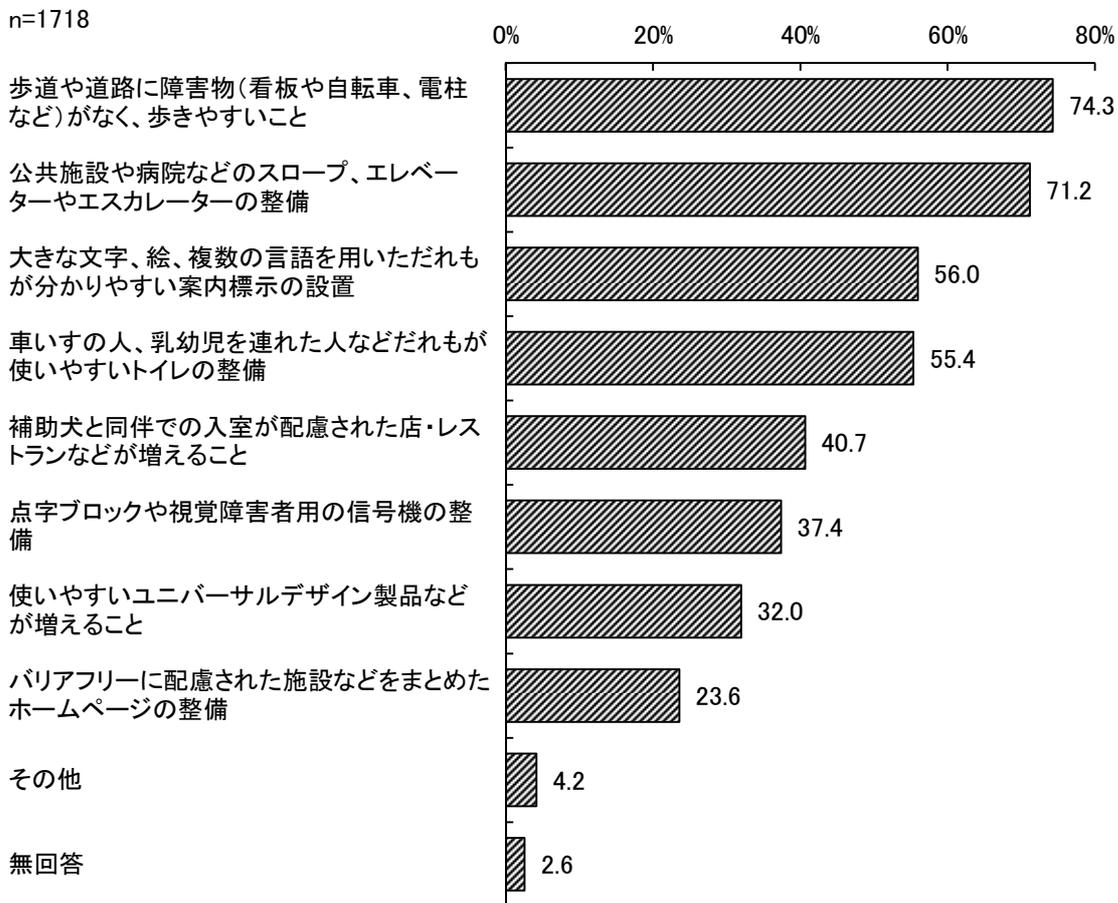
n=1718



地域で優先的に取り組まなければならない課題は「高齢者世帯の生活支援（声かけや安否確認、買い物支援など）」が 43.6%と最も高く、次いで「災害が発生した際の安否確認や避難誘導などの防災活動」が 40.2%、「障害のある人が地域で自立して生活するための支援」が 31.7%、「高齢者の社会参加や生きがいのづくり」が 31.0%などとなっている。

3. バリアフリーやユニバーサルデザインについて

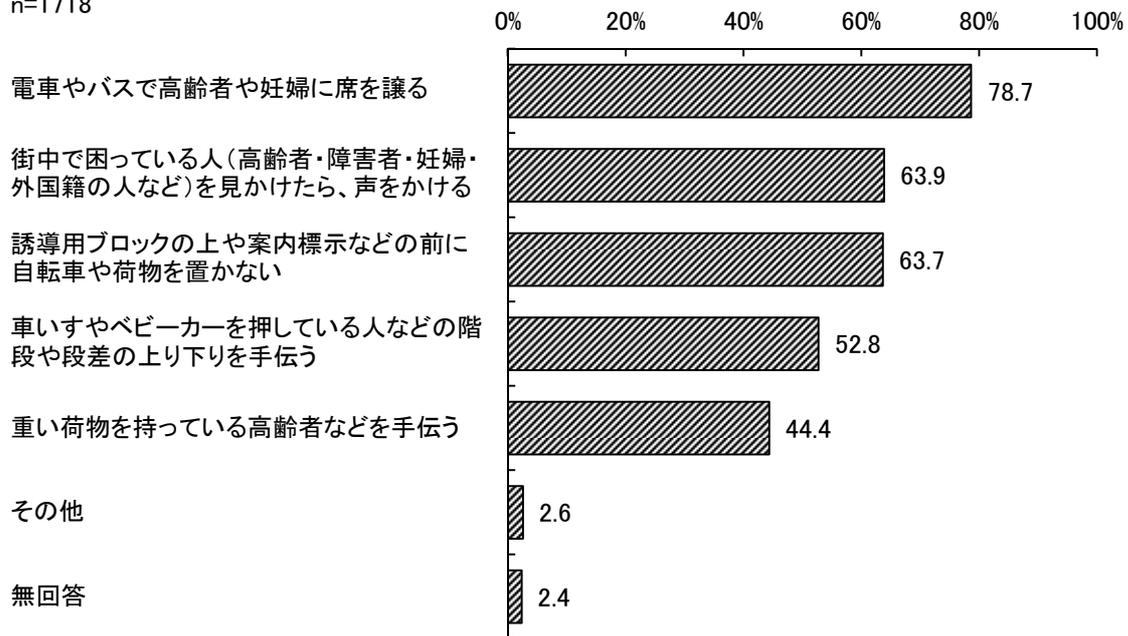
問 13 あなたは、すべての人が暮らしやすいまちづくりを進めるためには、どのようなことを充実したら良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



すべての人が暮らしやすいまちづくりを進めるために充実したら良いと思うことは「歩道や道路に障害物(看板や自転車、電柱など)がなく、歩きやすいこと」が74.3%と最も高く、次いで「公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーターの整備」が71.2%、「大きな文字、絵、複数の言語を用いただれもが分かりやすい案内標示の設置」が56.0%、「車いすの人、乳幼児を連れた人などだれもが使いやすいトイレの整備」が55.4%などとなっている。

問 14 心のバリアフリーを進めるために、あなたが日常的に取り組めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=1718

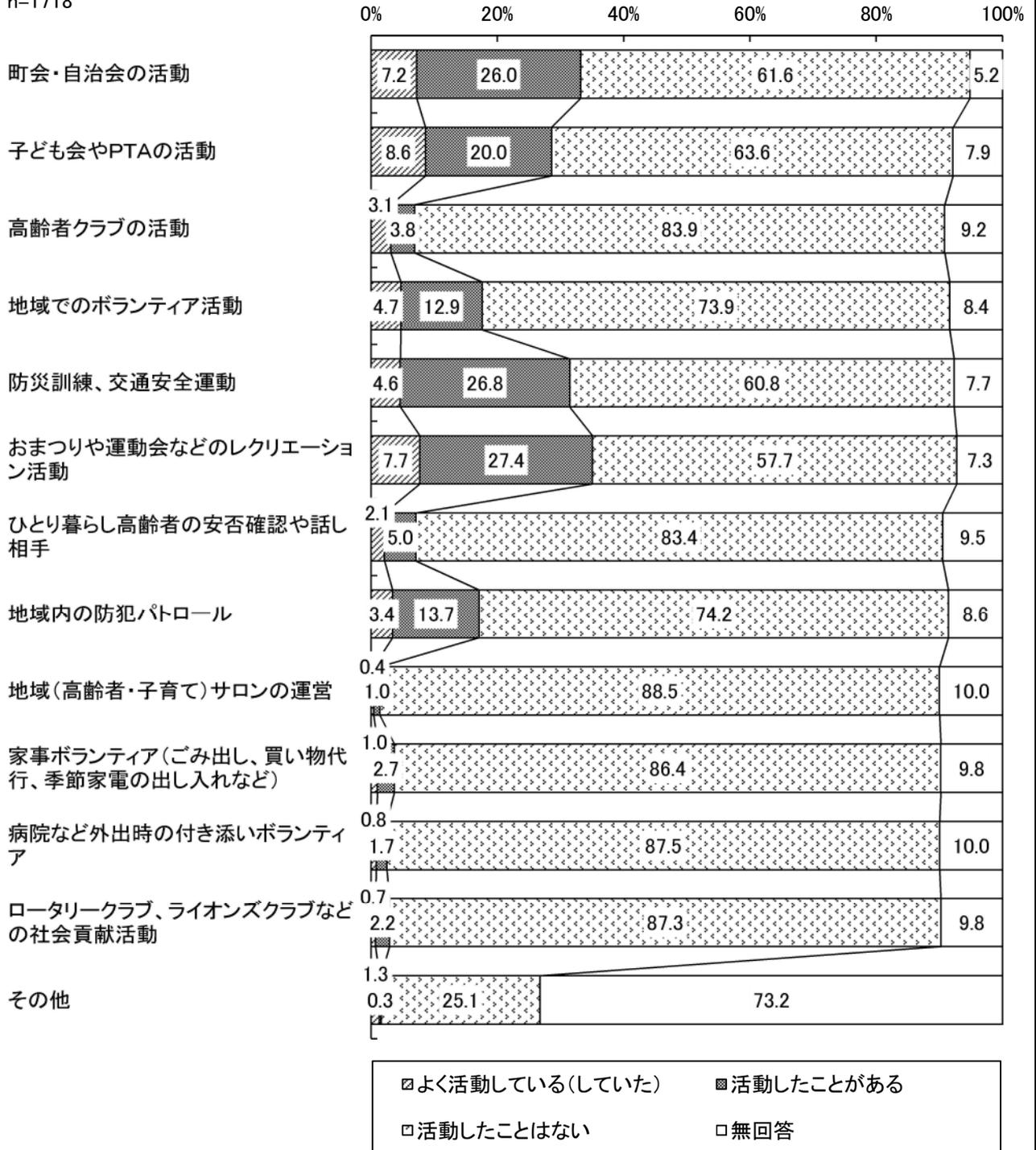


心のバリアフリーを進めるために日常的に取り組めることは「電車やバスで高齢者や妊婦に席を譲る」が78.7%と最も高く、次いで「街中で困っている人（高齢者・障害者・妊婦・外国籍の人など）を見かけたら、声をかける」が63.9%、「誘導用ブロックの上や案内標示などの前に自転車や荷物を置かない」が63.7%などとなっている。

4. 地域活動やボランティア活動について

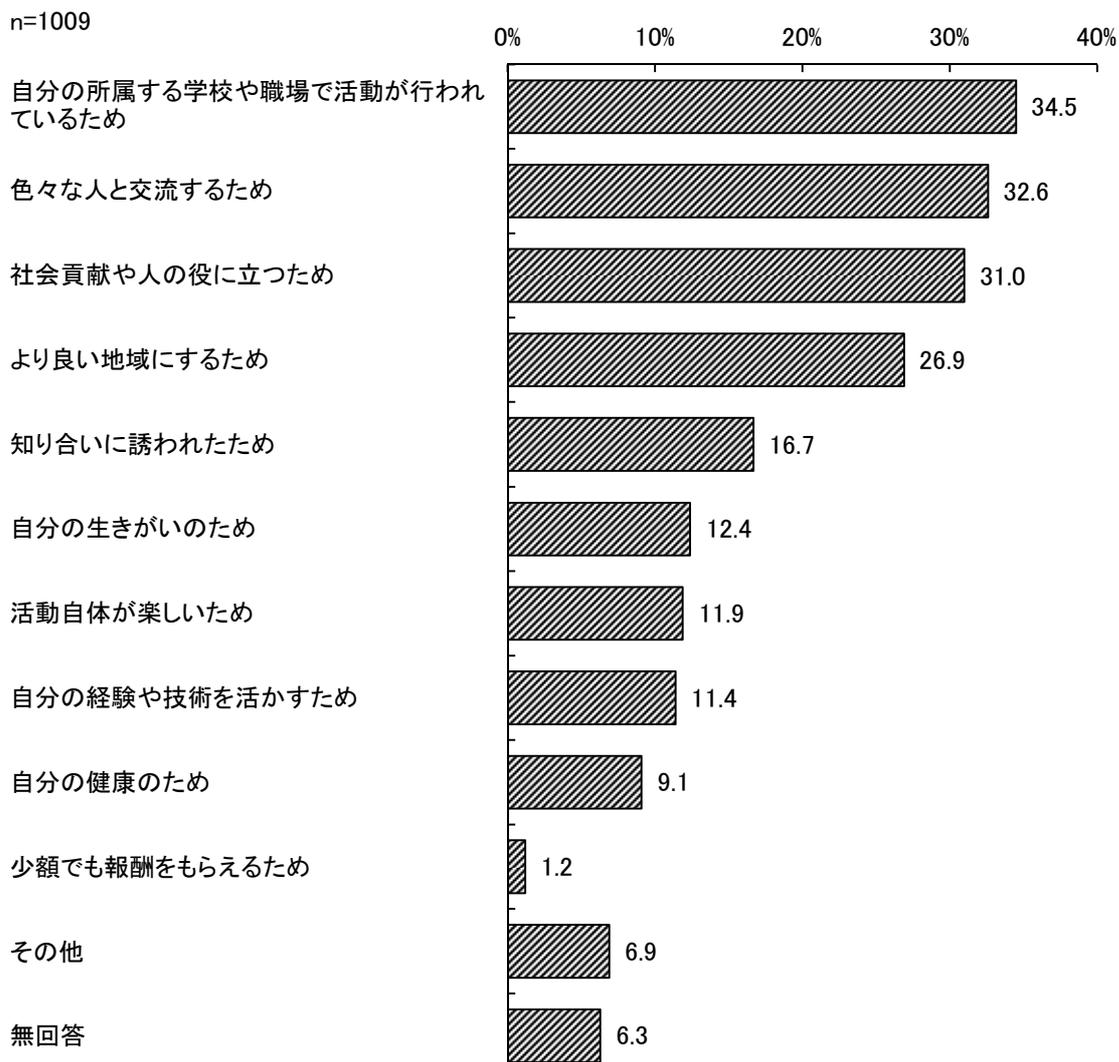
問 15 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事に参加をしていますか。(項目ごとに1つに○)

n=1718



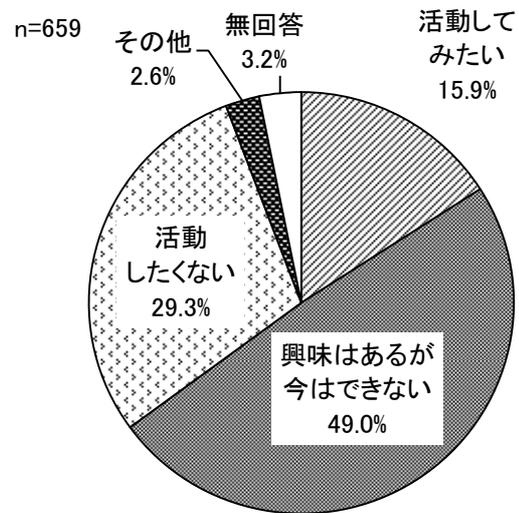
地域活動やボランティア活動、居住地域の行事への参加について、おまつりや運動会などのレクリエーション活動は「よく活動している(していた)」が7.7%、「活動したことがある」が27.4%、合わせた「活動している(したことがある)」は35.1%、町会・自治会の活動は「よく活動している(していた)」が7.2%、「活動したことがある」が26.0%、合わせた「活動している(したことがある)」は33.2%、などとなっている。

問 15-1 問 15 でいずれかの活動に「1. よく活動している（していた）」または「2. 活動したことがある」と答えた方におたずねします。あなたが活動する理由は何ですか。（3つまでに○）



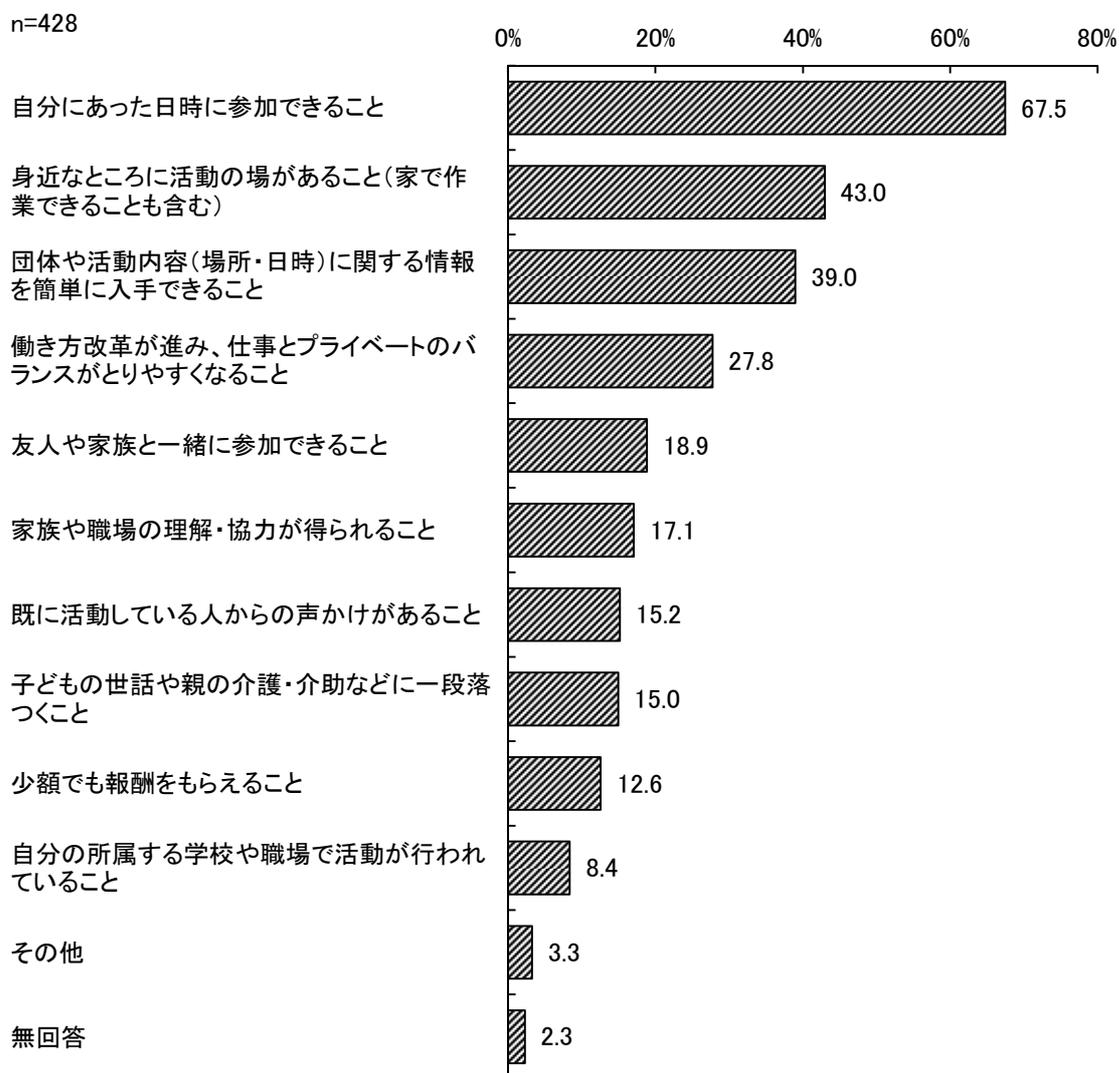
活動する理由は「自分の所属する学校や職場で活動が行われているため」が 34.5%と最も高く、次いで「色々な人と交流するため」が 32.6%、「社会貢献や人の役に立つため」が 31.0%、「より良い地域にするため」が 26.9%などとなっている。

問 15-2 問 15 ですべての活動に「3. 活動したことはない」と答えた方におたずねします。あなたは、今後、活動してみたいと思いますか。(1つに〇)



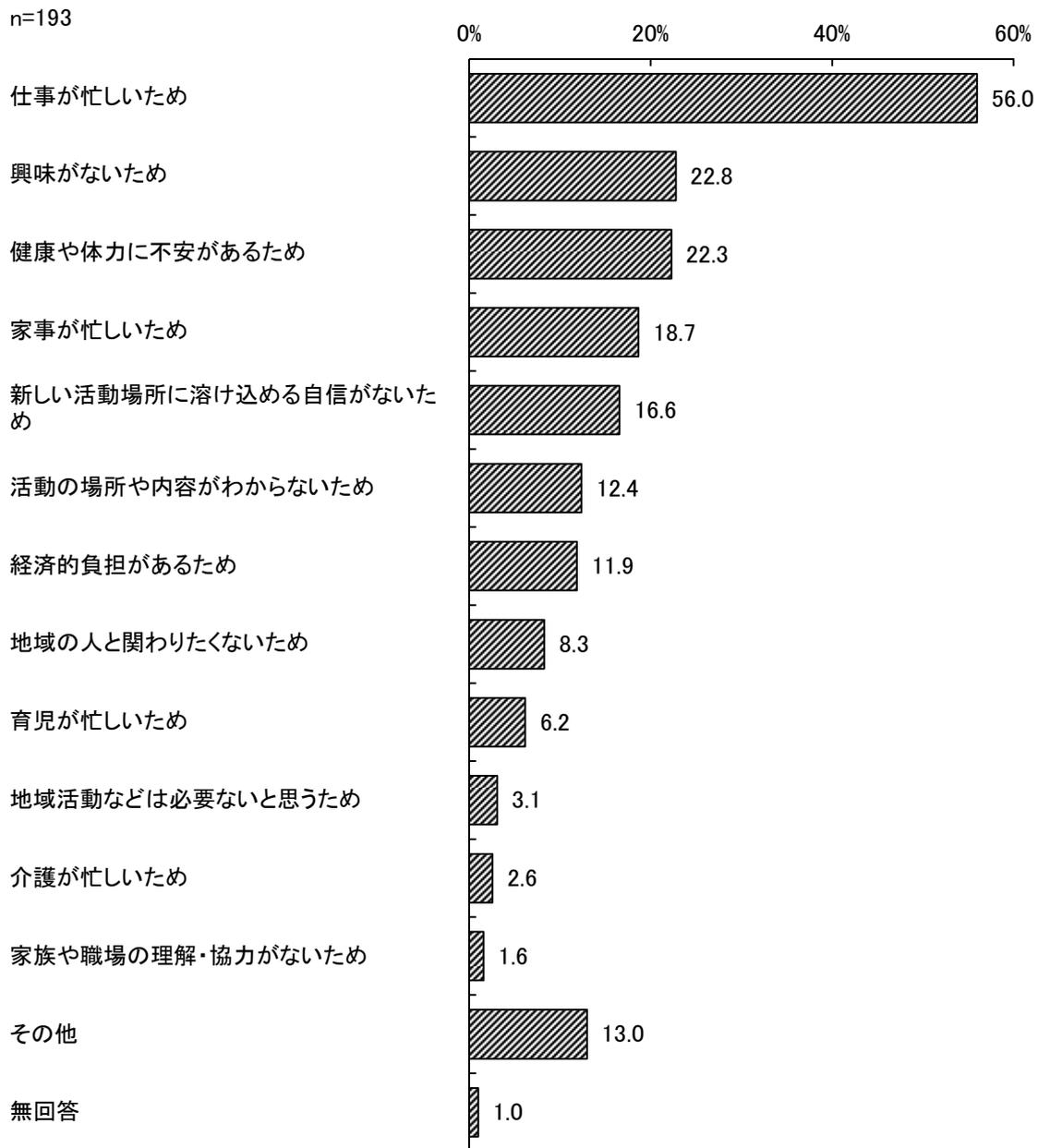
今後の活動については「活動してみたい」が 15.9%、「興味はあるが今はできない」が 49.0%、「活動したくない」が 29.3%となっている。

問 15-3 問 15-2 で「1. 活動してみたい」または「2. 興味はあるが今はできない」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような環境や条件が整えば活動できると思いますか。（あてはまるものすべてに○）



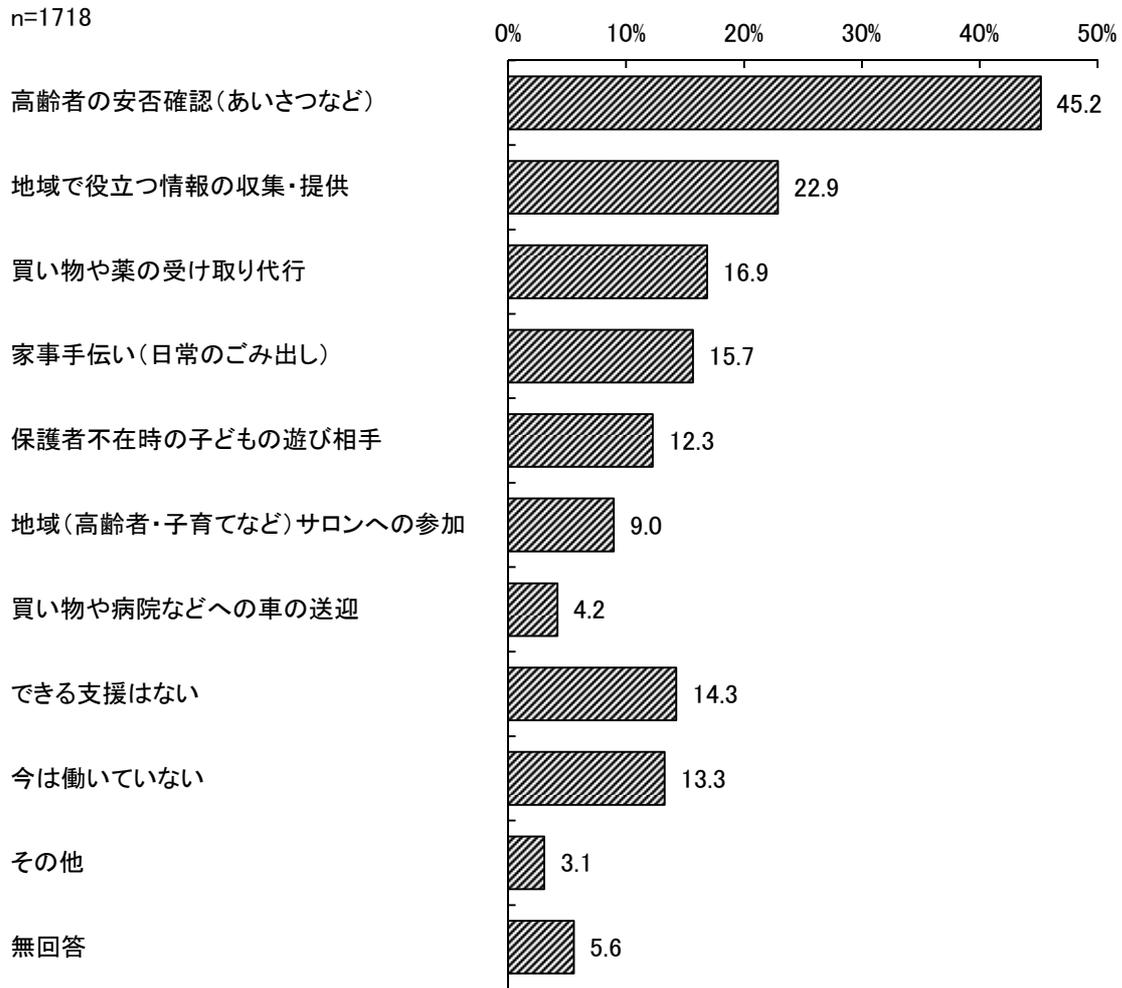
どのような環境や条件が整えば活動できると思うかは「自分にあつた日時に参加できること」が 67.5%と最も高く、次いで「身近なところに活動の場があること(家で作業できることも含む)」が 43.0%、「団体や活動内容(場所・日時)に関する情報を簡単に入手できること」が 39.0%などとなっている。

問 15-4 問 15-2 で「3. 活動したくない」と答えた方におたずねします。活動したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



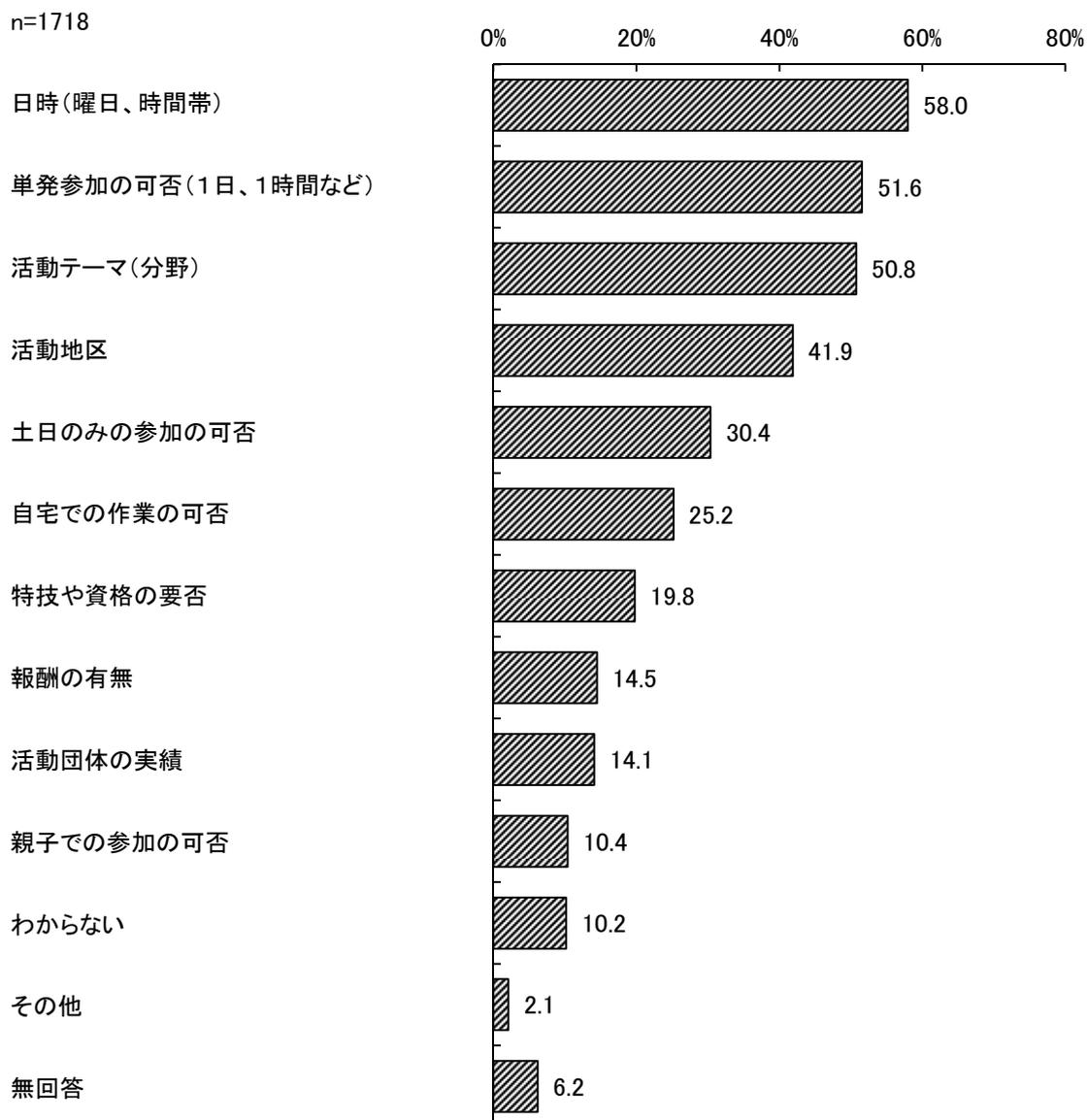
活動したくない理由は「仕事が忙しいため」が 56.0%と最も高く、次いで「興味がないため」が 22.8%、「健康や体力に不安があるため」が 22.3%などとなっている。

問 16 あなたが近所に住む人のために働きながらでもできることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



近所に住む人のために働きながらでもできることは「高齢者の安否確認(あいさつなど)」が 45.2%と最も高く、次いで「地域で役立つ情報の収集・提供」が 22.9%、「買い物や薬の受け取り代行」が 16.9%、「家事手伝い(日常のごみ出し)」が 15.7%などとなっている。

問 17 もしも、あなたが地域活動やボランティア活動に参加するとしたら、どのような情報がわかると活動に参加しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



地域活動やボランティア活動に参加しやすくなる情報は「日時(曜日、時間帯)」が 58.0%と最も高く、次いで「単発参加の可否(1日、1時間など)」が 51.6%、「活動テーマ(分野)」が 50.8%、「活動地区」が 41.9%などとなっている。

5. 意見、提案

最後に、地域住民が支え合い、だれもが安心して暮らすことができるまちづくりについてご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

全 452 件の意見をいただき、主な内容別件数は以下のとおり、「地域の交流について」が 20.6%と最も高く、次いで「モラルやマナーについて」が 10.2%、「情報提供」が 10.0%などとなっている。

分野	件数	割合 (%)
地域の交流について	93	20.6%
モラルやマナーについて	46	10.2%
情報提供について	45	10.0%
都市・生活環境（道路・交通）について	39	8.6%
ボランティアについて	38	8.4%
福祉全般について	35	7.7%
行政について	28	6.2%
高齢者支援について	17	3.8%
治安・防犯・防災について	16	3.5%
本アンケートについて	11	2.4%
健康づくりについて	9	2.0%
子育て支援について	9	2.0%
経済的支援について	6	1.3%
偏見（年齢、性別、国籍等）について	3	0.7%
障害者支援について	2	0.4%
その他	55	12.2%